

届いた農産品を手にする大峰堂
薬品工業の社員たち

大雨被災の農家 買って支援

奈良の製薬会社 安芸高田・北広島産170キロ



8月の大雨で被災した広島県の農家を支援しよう」と、奈良県大和高田市の製薬会社、大峰堂薬品工業が広島の農畜産品約170キロを買い入れた。9日に同社へ品物が届き、社員238人が笑顔で受け取った。

安芸高田市と北広島町のチンゲンサイ、水菜、青ネギを計約75キロと広島和牛約95キロを、JA広島北部（安芸高田市）を通じて購入した。社員1人が野菜300㌘、牛肉400㌘を持ち帰り、味わうという。

企画の実行委員の為廣貴志さん（48）は「牛鍋にしたい。チンゲンサイを使った

カレーライスもいい」と楽しみにした。調理や食事の写真はアルバムにまとめ、JA広島北部に届ける。新型コロナウイルス禍で昨年、今年と恒例の社員旅行が中止になつた。浮いた旅行資金を有効活用しようと、辻将央社長（53）が発案。今年分と会社が追加した約280万円を購入費や運送費などに充てた。

3日には辻社長と社員約70人がオンラインで、安芸高田市の農家と対談。農業に取り組む情熱に触れ、刺激を受けたという。辻社長は「広島にはたくさん友人がいるし、取引先もある。せ

つかのご縁なので、さらに深めたい」と話した。

（森下敬）